

管理室

窓ガラス	実験室の様子が見える
制御盤	実験室の操作が可能だが、ヘラにしか使い方は分からない。
	ヘラが実験室のガスと電流と高熱をオフにした。実験室の換気には5分必要
	ガスは即効性ではないので息を止めれば耐えられる。
	PTが島についたころに惨劇が発生したようだ。
部屋の奥の方の扉を開けると研究員の死体とライカンスロープ少女(アオバと命名)が飛び出てきた。15歳くらい。マレーンの地方語しか話せない。	
アオバ	一見そっくりだが、ガルムと違い、黒く変色している皮膚が四肢全てに渡っている事と、瞳が両目とも青い(ガルムは青と黒)という相違点があった。 「ん…そういえばなんで来たんだっけ…なんか、凄く嫌なことがあって、目の前が真っ暗になったのは覚えてるんだけど……あ、その人はアタイの体いつも触ってくる変なおじさんだよ」 「(何があったかは)覚えてないんだよね…なんか、窓(おそらく実験室)から何かを見て、それで…なん、だっけ」(頭を抑えて思い出そうと必死になるけど、唸るばかりで不安感ばかりつり)
ロッカー	白衣のスペア、保存食、綺麗にされた頭蓋骨、大量の女性の下着、小銭入れとして使われていた袋に入っていた200セレンや、魔晶石3点分が2個
机の上	主任室の鍵を発見

アオバをアルマとガルムに預けたところ、アオバとガルムの相性が悪いことが分かった。何故相性が悪いのかはまだよく分からない。

ヘラ「その子は、うん、ここの子はみんな、神の祝福のもとに産まれた命じゃない…だから、奇跡を受け付けない。…癒やすどころか、殺す」

アオバたちは自然の存在ではないので星霊術でも癒せない。人形やゴーレムでもないのでもキュレイトも受け付けない。武王の妙厄無を受けると崩壊する。

主任室

<p>中は広めの研究室。壁にはホルマリン漬けや標本、剥製などが置かれている。それはあまり直視したくない青髪の何かだ。</p>	
<p>奥にはデスクが一つ。主任(パンドラ)が座っている。その奥には緑色の液体が入った水槽。</p>	
パンドラ 生を侮辱するもの	<p>白衣を着た金髪ロングヘアの若い女性。自称人間。</p>
	<p>ヘラに死体の扱いや剥製づくり、死霊術などを教えたようだ。</p>
	<p>ヘラに何度も殺害を止てられた。毒殺、刺殺、可憐、暗殺などすべてが大敗している。ヘラの目の前で大切な人が死んだことにも関与しているようだ</p>
	<p>「この研究はね、世界を変えるための研究なんだよ。ヘラにはさざん言言ってたと思うんだけどなあ…」</p>
	<p>「近いうち、もしかしたらあと数年以内に、世界は炎に包まれて滅ぶ運命。ここの家主が見た運命がそれなんだよね」</p>
	<p>「人間が世界を支配している今、パレスの守護竜たちも世界は守る気はなく、赤い災厄に包まれて滅ぶ。それはもう確定した未来」</p>
	<p>「だからね、世界を守るには人間に任せてはいけないんだよ。過去にも同じ崩壊があったという文献があつてね。その時は龍帝と裏界は無事だったんだ」</p>
	<p>「つまり、滅びを回避するためには人間の支配を革命して、悪魔が地上を支配すればいいんだ、そのためには最上位悪魔を大量に呼ぶ必要がある…そのための研究なんだよ」</p>
	<p>「人間は滅んだほうがいいんだよ。そうすれば世界は最低でも無事。この星だけは守れるんだ」</p>
	<p>研究者の実験試料は居住区にある。</p>
奥の水槽の人影	<p>家主(エミール・レイモンと思われる)は下の階にいるようだ</p>
	<p>水槽の中の肉体はラプラスという悪魔の肉体。</p>
	<p>「実験を繰り返した結果ようやく体を作ることに成功したんだ！ 魂ももう入っている…たーだー、なかなか言うことを聞いてくれないから、今は寝かせてるんだよ」</p>
	<p>ラプラスの肉体は「自己進化、自己再生、自己繁殖を目標にしたスーパー兵器！」</p>
	<p>完成度は「もうほとんど完成してるよ。あとは脳をどうにか弄って制御したいんだけど、再生がすごすぎて洗脳効かないなんだよね」</p>
	<p>非常停止装置はない。最終的に暴走して世界を滅ぼすため。</p>
	<p>パンドラ自身の安全を確保する措置も行っていない。</p>
	<p>暴走した実験体を処理するためには、死ぬために生まれてきたことを思い出させて発狂させて殺す。パンドラが「死ね」といえば死ぬらしい。</p>
	<p>一見普通の女性のようにだが…漬け込まれている液体の色を差し引いても、人間と異なり真っ白に近い肌。</p>
	<p>頭がまるでクラゲでも乗ってるかのように膨らんでおり、透明になっている。髪の毛はなく膨らんだ頭が傘のようになっていて、そこから触手のようなものが多数出ている。</p>
<p>その後、ヘラとパンドラが一騎討ちをした。</p>	
ヘラ 死を冒瀆する者	<p>パンドラはテレポートで島の外に逃亡した。(無事ではない)</p>
	<p>主任の机の奥の水槽の方を見て「鍵はあそこにある」と言った。</p>
ラプラス	<p>パンドラの言葉は話半分</p>
	<p>鍵は物理的な鍵ではないようだ。</p>
	<p>運命を司る悪魔、木々を定める者、主知全能の魔、など称されている取上位悪魔の1体。詳しい伝承は残されておらず、現世に顕現したことも記録にはない</p>
ラプラスのダイスに関する研究資料	<p>魔力を持っているのは水槽の中の悪魔の肉体だった。</p>
	<p>両目とも閉じて眠っているように見える。おしとやかそうな柔らかい表情。パンドラの「言うことを聞かない」とはどういうことか</p>
ラプラスのダイスに関する研究資料	<p>ラプラスのダイスとは、運命を決定するものではないと思われる。むしろ運命を選択するものではないか。しかし、肝心のラプラスからなかなか情報を聞き出せない。どうにもこいつは非協力的である。手がかれたからこれで報告書終わりにするね。パンドラより、愛をこめて☆</p>

飼育室

扉	G2が破壊したと思われる。
研究員の死体	頭を天井に突っ込んでぶら下がっていた。 この研究員はまともな服を着ていた。 小さな鍵を持っていた。特に重要そうな感じはしない。
壁や床	暴れまわった爪痕が残っていた。毛布や保存食が転がっていた。
怪しげな保存食	乾燥させた虫やネズミ、それに適当な海産物のすり身のような。タンパク質ならなんでもいいやという感じ。匂いもよろしくない、悪臭。他にもよくわからない肉が混ざってそう。

エミール・レイモン

アルマ	刀が折られて地面に倒れている
アオバ	G2に必死に呼びかけている
ガルム	ダークエルフに拉致された
蒼白い肌のエルフ	「おっと、長居しすぎたな…では、後は頼んだよ」
	テオは矢を放つが、男は 振り返ることなく矢を僅かに体を動かすだけで回避 する。
	「やめたまえ、大切な母体に当たったらどうするんだ。…とはいえ、君が矢を放つ未来は見えていたがね」 右目に埋め込まれているであろう怪しい球体を輝かせて ながらテオに振り返り、小さく笑ってからあるき始める。
	アリーヤの放つ銃弾も見ることなく回避 し、困ったように口を開く
	「あー、次は攻撃しないほうが良い。君らの大切な仲間当たる運命だ。忠告はしたよ」 そう言うと男はガルムを連れて足早に去っていく(研究室から出た)
ツバキ	「アタンはあの変なダークエルフにふっとほされたのよ。闘つてて嫌な感じだったわ。正直なところ勝てる気がしないわね」
	「何されたのかイマイチわかんないのよ ただまあ、少なくとも イメージ通りに体を動かせるだけの身体能力はあるようだわ」
	「アタシの格闘の腕なんてテオやガルムよりよっぽど低いわよ。ただ、 攻撃は避けた先にくるし、攻撃は完全に見切られるし…さんざんだわよ。ただ…まあ唯一 」
	「… 桃毛鳥だけは一撃だけ攻撃を避けてカウンターを当ててたわね 一瞬過ぎてアタンにも何をしてたのか見えなかったんだけど」
	アルマが完全な状態なら勝負になったか? 「どうだかね… 攻防できたのはその一瞬だけ 。後はアタシと同じで瞬殺だったわよ。ガルムもね」 ダークエルフとの戦闘時間は? 「1分よ。3人がかりでね」